

令和6年4月7日

於:グランドニッコー東京 台場「パレロワイヤル」

「イエス復活祭並びに春季大祭」 成井理事長挨拶

皆様、「イエス復活祭並びに春季大祭」、誠におめでとうございます。

万物が清らかに輝く「清明」の頃を迎えました。

本日は、明主様のみ心を地上に顕現なさる唯一のご存在であられる教主様のみもとにて、全国の、そして、世界中の信徒の皆様と共に、聖イエスの復活を心からお祝い申し上げ、併せて春季大祭をお許しいただきましたこと、天の父であられる主神と、我らの主であられる聖イエスと明主様に、そして、教主様に、衷心より厚く感謝をお捧げしたいと存じます。

本日も、まゆみ奥様には、私どものためにご出座賜っています。後ほど、教主様と一緒にご出ましになります。立春祭に続いて本日も、まゆみ奥様にお目にかかれますこと、誠にうれしくありがたいことと存じます。

そして、本日は、教主様の後継者であられ、立春祭を期して教主様のご代行となられました真明様にご臨席いただいておりますので、ここでご紹介させていただきます。真明様、恐れ入りますが、どうぞお立ちください。

ありがとうございました。皆様もすでにご存じのように、真明様には、極めて意義深い春分の日の翌日の3月21日にお誕生日を迎えられました。加えて、真明様、マミ奥様のご長女のめい様には、この春、めでたく小学校にご入学になります。真明様、重ね重ね誠にありがとうございます。教主様、まゆみ奥様、真明様、マミ奥様の深い愛情に包まれて、めい様、みゆ様、みこと様の弥栄は、世界メシア教と私どもにとりまして、正に輝く未来であり、誠にありがたい御事と存じます。

そして、先般、真明様には、世界中の信徒に向けて、真明様ビデオメッセージ No.22 「わが父よ」を英語とポルトガル語にて賜り、私どものために日本語字幕版をも賜りましたこと、誠にありがとうございました。真明様には、ビデオメッセージの中で聖言くださいましたように、教主様のご代行として、本年7月の上旬から中旬にかけてアフリカにご巡教になり、アフリカの聖地建設予定地にて、アフリカ全土から約2万人の皆様が参集し、地鎮祭・聖別式を賜ることとなりました。真明様は、「アフリカに来て、一生に一度あるかないかというこの聖別式に参列し、あなたのまさに目の前で、

明主様の聖地が生まれる瞬間を、自らの目で目撃してください。」と仰せになりました。つきましては、日本からも専従者、信徒の希望者を募り、審査を経て参拝団として派遣させていただくこととなりました。旅費等の派遣費用は教団が負担する予定でございます。どうぞ奮ってご応募ください。教主様のご代行であられる真明様の、すなわち教主様のお導きのもと、世界中の信徒が一丸となり、土の聖地：アフリカの地鎮祭・聖別式に、そして、ブラジルにて行われます世界祖霊大祭に思いを馳せ、進ませていただきたく存じます。

本日も、後ほど真明様には聖言を賜ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、ここで、ご来賓をご紹介させていただきます。恐れ入りますが、お立ちいただけますでしょうか。衆議院議員の杉本和巳<sup>かずみ</sup>先生です。

ありがとうございました。杉本先生は、教主様中心のご神業と私ども世界メシア教のためにご尽力くださっています。今後は特にメシア聖堂建設に関しましてもお力添えをいただきたく存じます。本日は誠にありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

そして、本日は、教主様のお許しのもと、海外からアメリカ世界メシア教のイゴル本部長と信徒の皆様がご参拝になっています。どうぞお立ちください。

ありがとうございました。イゴル本部長には、本日の祭典終了後に、教主様のお許しを賜り、東日本、中国、九州の各教区を訪問していただき、集いを開催させていただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

さて、先月 31 日は、教主様と真明様により教団の祭日と定められたイースターでありました。そして、本日、イースターのお祝いを兼ねて、イエス復活祭並びに春季大祭をお許しいただきました。

真明様は、先般の豊穰祈願祭における聖言「真実の告白」の中で、私ども世界メシア教聖徒に託された使命と責任についてご明示くださいました。真明様は、全人類一人ひとりの中にメシアの御魂が存在しているという神様の真実をお受けし、この事実を携えて東から西へ、日本からイスラエルへ、エルサレムへ復えす時が来ている旨、ご開示くださいました。私は、私どもに託された使命と責任の重大さを考えます時、そして、自らの至らなさを思います時、ただただ聖イエスと明主様に、すなわち教主様と真明様のみまえにひれ伏し、そのご教導に与る他になす術はないと思わせていた

できました。同時に、この重大な使命、責任を託された者として、私は、全人類のために、そして、私自身のために流してくださった聖イエスの贖いの御血汐に深く思いを致し、聖イエスの復活と来月迎えるペンテコステのみ業を真に自らのこととしてお受けさせていただきます。

本日、私は、こうした思いを心に刻み、真の救いの三本柱としての祈り、ミロクの世の食、コーラス・メシアによる音楽の宣布伝道に、そして、未曾有の福音の象徴としてのメシア聖堂建設に、誠<sup>せい</sup>歓<sup>かん</sup>誠<sup>せい</sup>喜<sup>き</sup>の思いをもって邁進させていただくことをお誓い申し上げます。ありがとうございました。

以 上